



森ボラ 通信

第 232 号 2021 年 9 月 20 日発行
NPO 法人 **北海道森林ボランティア協会**
URL <https://www.shinrin-npo.info/>
札幌市豊平区平岸 1 条 1 丁目 8-8 ラルズ生活研究センター
TEL (fax.): (011) 816 - 7010
E-mail: hshinrin2002@nifty.com

■ 活動報告

◆ 澄川南小 6 年生の森林整備体験を支援

8 月 30 日、暑かった 8 月初旬を思い出させるような夏の日差しの中、澄川南小 6 年生 62 名が森林整備体験のため澄川の森を訪れました。

体験の作業は駐車場向かい植栽地の「草刈り」。手鎌を使うため危険のないよう森ボラ当日参加者 15 名全員で対応しました。

はじめに、子供たちは松井さんから手鎌を使って草刈りの実演指導を受け、3 人一組で作業を始めますが、思うように手鎌が使えず四苦八苦。手取り足取り(鎌取り?) 手厚い指導で、コツをつかみ始めたところで終了時間になり「もっとやりたい」とあちこちから終了を惜しむ声が上がりました。

後半は広場に場所を移し、酒井長老より「澄川の森の生き物たち」と題し、澄川の森に生息していてレッドリストに載る絶滅の恐れのある生き物や、豊かな森を証明する指標種の生き物、郷土種に害を及ぼすブルーリストの生き物について、この地で撮影した写真を用いて解説がありました。

最後の質疑で講話のテーマに沿った問いの他に「好きな食べ物は何?」と奇をてらった質問に酒井長老は間髪入れずに「タマゴタケのスープ」と答え、その問いを想定していたかのように、鮮やかな卵黄のような色のタマゴタケを披露。その用意の良さとタマゴタケの姿に、子供たちと一緒にびっくり、そして懐の深さに敬服。

学校からほど近い豊かな森の中で毎年体験学習のできる子供たちがうらやましくなった一日でした。

(文・老田)



松井協会員が手鎌による草刈りの実演指導



草刈りは初めてという子がほとんど



酒井協会員が澄川の森の生き物たちを紹介

◆ 雨の日の水質調査

9 月 9 日、2021 年度 3 回目であり最終回でもある水質調査を行いました。前日に続く雨模様です。気温は 18℃、水温 15℃ 近辺。ヘルメットに雨の当たる音、水量が多くなった川の流れる音、いいものです。森ボラの醍醐味の一つに、1 日として同じ景色に出会わないことだと私は感じています。

下流橋の周りの木立は雨に洗われて、“ドライブ・マイ・カー”(最近見た映画で私のイチオシ!)の男優

二人がスッと立っているようなしなやかで凜とした佇まいでした。キャリコ橋での流量測定地点に行く途中は雨でぬかるんで足を取られそうです。が、その足元にはたくさんのフッキソウが白い実をつけていました。上流橋では、今年度最後の水生生物観察に集中しました。ネットですくった試料を白いバットに入れて、調査員(檀棒、佐野、加藤、老田各氏と私)がそれぞれのバットから水生生物を分類します。カワゲラ目、トンボ目、カゲロウ目、トビケラ目の差異は今年3回目(11地点目)でおぼろげながらわかってきたように思えます。当日観察3地点全てでカワニナがいました。上流橋ではたくさんいました。嬉しいおしらせです。

北大農学部昆虫体系学教室修士課程の高柳達志さんは、昨年末より水生生物についてレクチャーして下さり、7月に続いて9月にも同行していただきました。カゲロウを研究対象にしておられる、物静かな昆虫青年です。来年からは山梨県の研究所に就職されます。目視では同定できない水生生物を顕微鏡検査で同定して下さってもいます。社会人としての活躍に足を踏み出す2022年が平和で輝かしい日々であることを強く願います。(文・本郷)



水質調査の様子(下流橋)

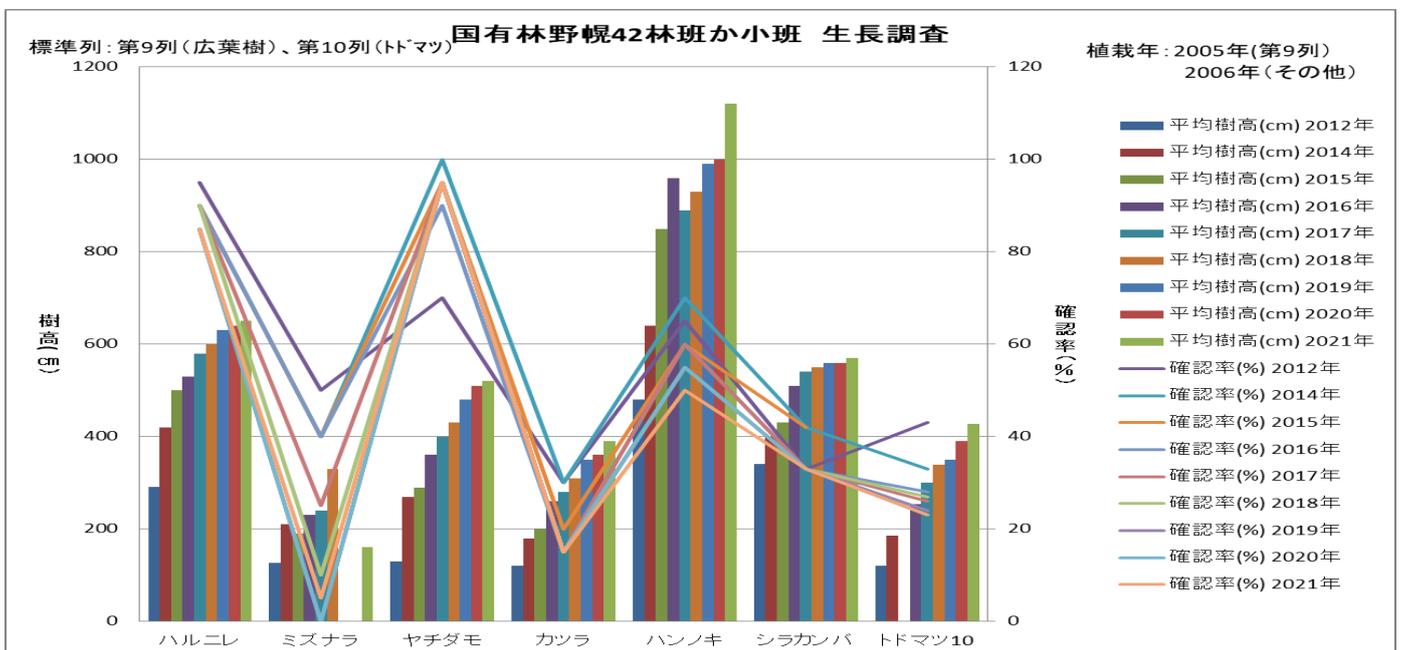


水生生物同定の様子(上流橋)

◆ 野幌国有林生長調査

江別市西野幌国有林42林班か小班(面積:1.87ha)の生長調査を7,8月に行ないましたので報告します。この地区は2004年9月の台風18号で大規模な倒木被害を受け、当会では2005年から森林再生に取り組んでいます。ここでは人手による地拵えの後に、1800本の針葉樹、広葉樹を植栽しました。生長調査は標準列として広葉樹の第9列、針葉樹の第10列を選び2012年から行っています。

現場は自生の広葉樹が旺盛に繁茂し、植栽した樹木が分からなく、調査は時間がかかりましたが、結果を下表に示します。





藪を漕いで行われた生長調査の様子

この表からは下記のことが考えられます。

- ・樹高は右肩上がりを示し、樹種により相違はあるが順調に成長している。
- ・特にハンノキ、ハルニレ、ヤチダモの生育が著しい。
- ・確認率ではヤチダモ、ハルニレ、ハンノキが上位を示している。
- ・ミズナラ、カツラ、トドマツは確認率が30%を下回っている。

この地区ではシカ、ウサギなどによる食害が見られないので地下水位が高いためと考えています。この結果を

最近行われている近くの道有林における植栽、育成管理の参考としています。 (文・榎棒)



← この写真は2005年9月の野幌国有林植栽当時の様子です。懐かしく思い出された方もいるのではないのでしょうか。

■ 澄川の自然 25

クリ〈栗〉 (ブナ科)

写真は全体にまだやわらかな緑色を残し、葉の上に雄花が下がり、雌花がやっと実を付けたところ。秋のイガ栗に比べういさが残っているところですね。

果実は縄文時代から大切な食料として利用され、今は日本人にとって秋の味覚として欠かせない存在です。

澄川の森にはあちこちに木はあるのですが、実は小さくて、又何時落ちて来るのか解らないし、小動物にお先に取りられてしまい、なかなか収穫が難しいところです。

クリは葉も、イガも、樹皮にも多量のタンニン(ポリフェノールの一種)を含み、昔から薬とか化粧品に使用されて来ました。水で煮つめた液はうるしかぶれによく効く様です。 (写真・三橋/文・西野(澄))



新入会員の紹介～よろしくお願ひします！

かわばた こうた
川端 康太 さん (33歳)

8月に活動体験に参加し、結構ハードな作業をやっていたのですが、何とその日のうちに入会の申込がありました。お蔭で森ボラ会員の平均年齢を大いに下げてくださいました。勤めの関係で土日しか参加できませんが、やる気満々。水質調査に興味があるようですので期待しています。

■ 今月の幹事会

出席者(9月8日):大窪・樫棒・清澤・松藤(緊急事態宣言を受けてスタッフのみで開催)

1. 2021年10月、11月スケジュール(10月幹事会10月6日(水))
2. 9月以降のコロナ対策について:緊急事態宣言の延長を見据えて活動。
3. 2021年8月会計報告と6月、7月の修正:車両関係費用を計上。
4. 軽トラックの入替時の自賠責と税金について:了承。
5. 第4回親子森林教室(森しり隊植樹祭)のスケジュール:了承。
6. 森林・山林多面交付金事業8月の活動報告:了承。
7. 銀行口座の現状と変更手続き:了承。
8. 現場報告
 - ・8/19,8/30 澄川南小学校校外学習支援:無事に終了。
 - ・8/21 野幌国有林生長調査。 7/19,7/24 水質調査:いずれも了承。
9. 現場対応
 - ・9/1,3 澄川南小3年生樹名板作成・取付 ・9/9 水質調査 ・9/18 澄川キノコ栽培指導。
 - ・9/16 支笏湖ぶんぶんの森:胆振東部管理署・道新・当会で現地協議。活動はコロナ対策で中止
10. その他
 - ・「脱炭素社会」の実現に向けて(提案):今後も検討。
 - ・助成申請状況:新規申請中。
 - ・Dropbox 機能拡張:詳細検討。 ・ガソリンカードの運用:了承。
 - ・澄川環境林の今後と樹木園整備の方向と討議日程:9/9 市役所現地調査の際に日程を確認。

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
8月19日(木)	澄川	17	D-3 作業道整備、澄川南小支援準備、苗畑整備
8月21日(土)	野幌道有林・(国有林)	16	下草刈り、移植箇所調査、(生長調査)
8月24日(火)	澄川	-	コロナ対策により中止
8月26日(木)	有明	13	笹刈り、階段設置、食害防止網補強
8月30日(月)	澄川	15	澄川南小6年下草刈り体験、苗畑・ホダ場整備
9月1日(水)	学校での活動のみ	3	澄川での活動は中止
9月3日(金)	澄川	16	D-3 作業道整備、澄川南小3年生樹名板取付 D-3 区駐車場奥の草刈り
9月4日(土)	研修旅行	-	コロナ対策により計画中止
9月8日(水)	ラルズ生活研究センター	4	幹事会(コロナ対策によりスタッフのみ出席)
9月9日(木)	澄川	19	水質調査、D-2 地拵え、看板作成 札幌市みどりの管理課林内視察
9月11日(土)	有明		コロナ対策により中止
9月14日(火)	野幌道有林	16	54 小班草刈り、親子森林教室準備